ＳＣ豊中だより（豊中市老人クラブ連合会）

豊寿

Vol. 120

《発 行 所》
ＳＣ豊中（豊中市老人クラブ連合会）　発行責任者 前田　雄治
〒560-0023　豊中市岡上の町2-1-15 豊中市すこやかプラザ内
社会福祉法人 豊中社会福祉協議会内　TEL. 06-6841-7335
https://toyonaka-shirouren.jimdofree.com

《編集協力》株式会社 博報社
大阪市平野区喜連西4-6-69　TEL (06)6797-0212

新年のごあいさつ
コロナを吹っ飛ばし、飛躍・向上の年に

ＳＣ豊中（豊中市老人クラブ連合会）
会長　前田　雄治

ＳＣ豊中会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は当連合会発展のため、コロナ禍ではありましたが、皆様の暖かいご協力によりまして、大過なく越年することが出来ました。本当にありがとうございました。

さて、昨年の前半は、新型コロナウイルス感染症により、あまり活動ができませんでした。しかし、感染状況が落ち着いた春以降には「春の日帰り旅行（舞鶴方面）」を開催し、政府の旅行支援策もあり、多くの方に楽しんでいただきました。さらに、３年ぶりに会場開催しました「老人クラブ大会」「高齢者文化祭」も大盛況でした。特に高齢者文化祭では、各クラブから多くの作品を展示いただくと共に、藤田グループ長の手品や油谷さんの沖縄民謡と三線で大いに楽しませていただきました。

その他にも、高齢者囲碁・将棋大会、高齢者ゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会・単位クラブ会長研修会・高齢者レクリエーション大会・健康ウォークラリー大会。更に11月の「秋の日帰り旅行（姫路方面）」では当初の予定を大幅に超える３２１名の方にご参加いただき、旅行日程を追加して対応することで、多くの方に楽しんでいただきました。旅行終了後には「次回の旅行もぜひ参加したい」とのお声をいただき、役員・部会員一同とても喜んでいます。ありがとうございました。

さて、ＳＣ豊中ではクラブ会員の高齢化が進んでおり、皆さんが参加しやすいより身近なクラブになっていく必要があります。その一助となるのが、３～４の単位クラブで構成されるグループでの活動です。グループ単位での話し合いを通じた活動から得た成果を共有することで、単位クラブの組織や運営の強化に繋がると考えています。成果が出るには相当の時間を要しますが、私もグループの話し合いに参加し、悩みや想いを共有しながら、ＳＣ豊中の発展強化に努めていきたいと思っています。

今年は兎年（卯）であり、コロナを吹っ飛ばし、役員一同、力を合わせ「飛躍、向上の年」にしていきたいと思います。

結びに、今年一年、各単位クラブの発展と、会員並びにご家族の皆様にとりまして、健康で幸多き年でありますようご祈念申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和５年もＳＣ豊中をよろしくお願い申し上げます

ＳＣ豊中役員一同

連合会長	前田	雄治	
副会長	藤井	保	
	吉野	武彦	
	谷口	幸雄	
	大島	久和	
	若林	政子	
	大森	裕和	
常任理事	新堂	孝士	
	田所五一郎		
	井谷	弘治	
	大田	忠	
	西野	昭則	
	小坂	梅代	
	朱山	繁行	
	森中	久子	
	指宿	海男	
	三浦	秀雄	
	松隈	正紘	
	東	賢次	
	伊澤	協次	
部会長	藤原	盛春	
	樫本	英昭	
	村田	雅彦	
	藤田	征夫	
	行部	勲	
	住田	隆史	
	坂野	文明	
	渡邉	博史	
	多度津亮介		
監事・参与	松島	英雄	
	仲井	嘉廣	
	伊藤	正治	
参与	池田	好宏	

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

新年のごあいさつ

豊中市長　長内　繁樹

明けましておめでとうございます。

平素は、豊中市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

ＳＣ豊中の皆様におかれましては、健康づくりや会員間の見守り活動、ウクライナ人道危機救援金への協力など、社会貢献活動に積極的に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

昨年は、豊中まつりの３年ぶりの現地開催をはじめ、地域のお祭りや体育祭などの行事も多く実施されるなど、まちの賑わいを感じた一年でした。

人々が心豊かに安心して暮らしていくためには、人や地域とのつながりが不可欠です。長引くコロナ禍において、気づかないうちに弱った「体」と「心」の健康が特に課題となっています。そのため、社会参画につながる皆様の活動は、心身の健康の保持増進の観点からも、ますます重要となります。

本市においては、アフターコロナにおけるフレイル対策や認知症予防などの取組みを進めるとともに、誰もが豊かに生きることができるように「暮らしやすさ」を高める新プロジェクトも始動しています。また、本年２月には、南部地域の新たな拠点となる庄内コラボセンターが、４月には、豊中市内初となる小中一貫教育の義務教育学校である庄内さくら学園も開校予定です。今後も市民一人ひとりに寄り添いながら歩みを進め、未来につなぐまちづくりを進めてまいります。

結びに、新しい年がＳＣ豊中の皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心から祈念申しあげます。

新年のごあいさつ

豊中市社会福祉協議会　会長　永井　敏輝

明けましておめでとうございます。

平素は当会事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々な行事、イベントを中止せざるを得ない事態になりました。中でも、毎年地域ぐるみでのお祝いとして多数ご来場いただいております敬老の集いが、３年続けて実施できなかったことは、本当に残念な思いを致したところです。

一方で、一昨年から「テレビで敬老の集い」として、会場における「敬老の集い」の代わりに、ご自宅で楽しんでいただけるよう番組を作成し、ケーブルテレビで放映させていただくと共に、88歳ならびに99歳の方（対象者：２２１７名）に長寿祝いとして、地域の民生委員さん・校区福祉委員のご協力を得て、お祝い品をお渡しさせていただきました。

また、新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの活動制限でフレイル（虚弱化）が急速に進んでいる状況を受け、当会では、「フレイル０」を目指して、ぐんぐん元気塾やとよなか地域ささえ愛ポイント事業等々、地域の高齢者が活動できる場づくりを展開しています。

貴会におかれましても、感染症対策に留意しながら会員相互の見守りを含め、積極的に心身の健康をはかるべく活動を進められたこと、ならびに３年振りに老人クラブ大会・高齢者文化祭・高齢者囲碁・将棋大会・グラウンドゴルフ大会・高齢者ゲートボール大会等を会場で開催されたことに改めて敬意と感謝を表す次第です。

結びに、本年も皆様にとって幸多き素晴らしい１年でありますことを心よりお祈り申しあげます。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第64回大阪府老人クラブ大会 表彰伝達式が行われました！

昨年９月１日㈭に開催を予定していた第64回大阪府老人クラブ大会が、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛要請から中止せざるを得なくなったことを受け、ＳＣ豊中では10月18日㈫の常任理事会で表彰者への伝達式を行い、前田会長から受賞された方々に感謝状・表彰状が手渡されました。

受賞一覧は以下のとおりです（敬称略）。受賞された皆さま、おめでとうございます。

◆優良老人クラブ知事表彰
高齢者クラブ南永楽会
（会長：大川　朝夫）
新千里千修会
（会長：村田　雅彦）

◆会長感謝状
伊藤　正治（上野楽寿会）
大田　忠（栗ヶ丘重陽会）

◆加入促進クラブ表彰
蛍池延寿会
（会長：大森　裕和）
泉寿会
（会長：福岡　美加）

令和4年度 ＳＣ豊中主催 単位クラブ会長研修会

昨年10月17日㈪、市立地域共生センターにおいて「令和４年度単位クラブ会長研修会」が行われ、48人が参加しました。

今回は「魅力ある老人クラブ活動を創造するために」という議題で、開会のあいさつでは前田会長が「皆さんと知恵を出し合って、一歩ずつ前へ進めるよう頑張っていきましょう」と述べた後、講演は２部構成で行われました。

大森裕和会長

まずは、蛍池延寿会の大森裕和会長による「蛍池延寿会の会員増強活動について」でした。

若手会員の増強を目標としているが、会員数を増やすよりも短期間で辞めさせないよう女性会員を多くし、入って良かったと思ってもらえるよう心を砕いているとのことでした。

次に、元茨木市役所職員で現在は大学の非常勤講師の大北規句雄さんによる「老人クラブの目指すべき方向性について」でした。

大北規句雄さん

高齢者が増加すると施策は充実・発展したものになるか？　どうすれば今後、会員数を増やし、クラブを充実させることができるか？

結論として、行政も高齢者もお互いをビジネスとして考えるとお互いの発展につながること、いろいろなことにチャレンジする気概が必要であること、今あるものを寄せ集めて再構築し提供することで、老人クラブの新たな未来が見えてくるのではないかということでした。

最後に質疑応答があり、研修会は終了しました。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第50回 豊中市高齢者文化祭

昨年9月2日㈮と3日㈯の2日間、豊中市立文化芸術センター1階展示室・多目的室において「第50回豊中市高齢者文化祭」が開催され、絵画・書・写真・手工芸・文芸作品など、当初予定していた326点を超える作品が展示されました。

コロナ禍で3年ぶりの開催とあって、会場には芸術鑑賞を楽しみにしていた多くの方が来場。3日には長内豊中市長も鑑賞に訪れました。

毎回注目のイベントも開催され、午前は桜ヶ丘シニアクラブの藤田征夫会長による「マジックショー！」。藤田会長は府下のさまざまな老人クラブや施設の慰問でマジックを披露しており、この日も観衆を前にロープマジックやサイコロの数字当てなどで拍手喝さいを浴びました。

午後のイベントは油屋亜弥さんによる「沖縄民謡・歌と三線」が行われ、『安里屋ユンタ』『娘ジントヨー』といった楽曲が披露されました。後半はリクエストに応えたり、速いテンポに即興で踊る沖縄文化〝カチャーシー〟をレクチャーして大盛り上がりでした。

油屋亜弥さん

藤田征夫会長

恒例の頒布会では、会員手作りの手芸作品や小物が販売され来場者に大人気。最後は前田会長から関係者一同に感謝のことばが述べられ、大成功で幕を閉じました。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第48回 豊中市高齢者レクリエーション大会

昨年10月28日㈮、豊島体育館において「第48回豊中市高齢者レクリエーション大会」が開催され、185人が参加しました。

今年度は3年ぶりに豊島体育館で開催。開会式であいさつに立った前田市老連会長は「今日はイベントが盛りだくさんです。短い時間ですが楽しいひとときを過ごしましょう」と述べました。

最初はレクリエーション推進委員による準備体操でスタート。次に行われたアイデアスポーツでは、参加者がそれぞれグループに分かれて〝ペットボトルサッカー〟〝椅子を使ったリズム体操〟〝簡単筋力トレーニング〟〝ジャンボ輪投げ〟〝タオル・ボール健康体操〟〝パラスポーツボッチャ〟〝バランスおじゃみ〟に挑戦しました。

その後、高川豊友会豊踊会を中心に全員が輪になって「炭坑節」を踊りました。

最後は豪華景品が当たるじゃんけん大会が行われ、参加者全員が前田会長と勝ち抜けの大勝負。勝っても負けても参加者からは笑顔がこぼれていました。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和4年度 健康ウォークラリー大会

昨年11月15日㈫、「令和４年度健康ウォークラリー大会」が開催され13チームが参加しました。開会式では前田会長によるあいさつと来賓祝辞、続いて役員紹介とルール説明などがありました。

今大会は豊中市立地域共生センターからA・Bコースに分かれてスタート。コマ図と呼ばれる暗号のような地図を頼りに相談しながら歩を進めます。コースには計７つのポイントが設定され、「大塚公園（ボトルキック と観察）」「長興寺公園（じゃんけん）」「萩の寺公園（フライングディスクと観察）」「住吉神社（観察）」「皿池公園（観察）」と、観察とゲームが混同するポイントもありました。

道中や各ポイントにはスタッフが待機しており、参加者が道に迷ったり事故に遭ったりしないよう安全面をしっかりサポート。あらゆる難所をクリアして再び地域共生センターに到着すると、「おかえり～」とスタッフや他のチームがお出迎え。安堵の表情で「難しかったねぇ」「よう歩いた」など、互いにゴール後の会話を楽しみました。

観察ポイントをくまなくチェック

一致団結して問題を解いていきます

成績発表では、順位に関わらず全参加者に賞品が用意されており、皆さん笑顔で大会を楽しみました。なお、大会結果は次のとおりです。

【大会結果】

優　勝　フィンガー５
準優勝　蛍池延寿会Ｂ
第３位　桜寿会２
第４位　桜ヶ丘
第５位　本町和楽会
第６位　豊桜会 ほがらか会
第７位　庄内島田グループ
第８位　若水会
第９位　さわやかレディ
第10位　桜寿会１
第11位　豊桜会 若手チーム
第12位　豊島ゆたか会
第13位　蛍池延寿会Ａ

ボトルキック

じゃんけん

フライングディスク

フィンガー５の皆さん

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和4年度 豊中市高齢者 将棋大会

昨年7月20日㈬、蛍池老人憩の家集会室において「令和4年度豊中市高齢者将棋大会」が開催され40名が参加しました。

参加者は段位や階級別で4グループに分けられ、別室で行われた将軍戦は5人総当たりのリーグ戦、A・B・Cの各組は本戦と敗者復活戦を取り入れたトーナメント形式で勝負を行いました。

対局後はお互い戦略について将棋談義に花を咲かせる場面も見られるなど、温かい交流が垣間見られました。

表彰式では各クラス上位2名に盾が贈呈されました。

【大会結果（敬称略）】

▼将軍戦
優　勝　山縣　崇由（蛍池延寿会）
準優勝　中北　武司（庄内王将会）

▼A組（有段者）
優　勝　和田　憲明（千里中央将棋同好会）
準優勝　岩田　功（新千里椿会）

▼B組（上級者）
優　勝　菊池利三郎（一般参加）
準優勝　入江　正一（千里中央将棋同好会）

▼C組（級位者）
優　勝　大久保儀吉（蛍池延寿会）
準優勝　池部　勉（蛍池延寿会）

各グループ上位入賞の皆さん

令和4年度 豊中市高齢者 囲碁大会

昨年9月14日㈬、蛍池老人憩の家集会室において「令和4年度豊中市高齢者囲碁大会」が開催され26名が参加しました。

参加者は段位者のA組（12名）、級位者のB組（14名）に分かれ、一人持ち時間20分で対局。一発勝負のトーナメント形式で順位を競いました。勝負前は笑顔で話していた参加者も、対局が始まると真剣勝負の眼差しになって碁盤に集中。勝敗が決した後は他の対局を見学するなど、大会を大いに楽しみました。

【大会結果（敬称略）】

▼A組（段位者）
優　勝　川村　尚登（シルバー人材センター囲碁同好会）
準優勝　太田　憲和（上野楽寿会）
第3位　冨山　定信（シルバー人材センター囲碁同好会）
第3位　白石　知芳（新千里椿会）

▼B組（級位者）
優　勝　大田　忠（熊野田みどり会）
準優勝　向井　達利（シルバー人材センター囲碁同好会）
第3位　林　正幸（シルバー人材センター囲碁同好会）
第3位　森　耕二（シルバー人材センター囲碁同好会）

A組上位入賞の皆さん

B組上位入賞の皆さん

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第43回豊中市高齢者 ゲートボール大会

昨年10月5日㈬、豊島公園多目的グラウンドにおいて「第43回豊中市高齢者ゲートボール大会」が開催され、８チームが参加しました。

開会式で行われた米寿の表彰では、松木萬里さん、三宅弘枝さん、樫下万一さんの３名に前田市老連会長から祝品が手渡されました。その後、安場孝一さんによる選手宣誓、始球式などを経て、プレー開始となりました。

勝負は参加８チームが２コートに分かれて対戦。各チーム３試合のリーグ戦を行い、勝数と得失点差で順位を競いました。試合中には「ここまで運んで」「その球に当てて」など、ゲートボールならではのアドバイスがコートいっぱいに響きわたりました。また今大会では役員もチームを組んで参加、大会を盛り上げました。

成績発表では上位３チームを表彰。役員チームはまさかの最下位となり、大きな笑いと拍手がわき起こりました。

幸和フレンドの皆さん

【大会結果】

優　勝　幸和フレンド
準優勝　愛球クラブ
第３位　あけぼの友好会

ＳＣ大阪主催 第25回グラウンド・ゴルフ大会

昨年10月13日㈭、久宝寺緑地陸上競技場においてＳＣ大阪主催「第25回グラウンド・ゴルフ大会」が開催され、ＳＣ豊中から12人が参加しました。

結果は道平勇さんの22位が最上位と少し残念な結果となりましたが、大会終了後には応援に駆けつけた前田市老連会長を交えて参加者全員が笑顔で記念撮影を行いました。

社会活動部会が今年も参加！ とよなか市民環境展２０２２

昨年11月25日㈮～26日㈯の２日間、「とよなか市民環境展２０２２」が豊島体育館で開催されました。

ＳＣ豊中では、今年度も社会活動部会が中心となり、清掃活動や雑巾づくりの様子、子どもたちから寄せられたエコメッセージなどを展示しました。

金曜だけの参加でしたが、ダンボールや牛乳パックで手作りしたおもちゃなどを使って、近隣の小学生たちと親睦を深めていました。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

ブロックだより

南部ブロック

ブロック長　谷口　幸雄

昨年11月6日(日)、高川複合施設において南部ブロックの恒例行事である「南部演芸大会」を3年ぶりに開催しました。

コロナ対策には万全を期し、大声での声援を禁止するなど個人での感染予防管理のもと、午前・午後の2部制で行い、合計３４５人の方にご参加いただきました。

中には、出演を予定していた96歳の方が3日前に緊急入院したものの、3日後の当日には退院され会場に来られました。出演は叶いませんでしたが、近隣の方々に介助されながら「皆さんに感謝します」と、とても喜んでおられました。

また、舞踊では高齢で体力が限界という方に代わり、子供さんが出演するといったエピソードもありました。

何より、久しぶりに皆さんのお顔を拝見できたのがうれしかったです。次回も開催できるよう、役員会で協議してまいります。出演者の皆さま、おつかれさまでした。

北部ブロック

ブロック長　藤井　保

北部ブロックの皆さん、新年を迎えますますお元気でお過ごしのことと思います。昨年もコロナ禍が続き、クラブ活動もなかなか思うようにできませんでした。そんな中、少しでも活動を展開したいと昨年9月26日(月)に「北部ブロック単位クラブ会長会」を、蛍池老人憩の家で開催しましたので概要を報告します。

活動報告を2名の方に行っていただきました。最初は「泉寿会」の福岡美加会長。太極拳のクラブを創設し「ＳＣ大阪活動支援事業」に選ばれて支援金7万5千円をもらったすごい苦心談の話、そして令和4年に「泉寿会」結成30周年を迎えた歓びを熱い思いで語られました（30周年記念式典には長内豊中市長出席）。

もう一人は蛍池延寿会の大森裕和会長。将棋・麻雀・フラダンスなどの部会活動を通じて、所属するクラブ員が新たなメンバーを次々と紹介し、会員増11名を達成した素晴らしい報告をされました。ちなみに、この2クラブは昨年、大阪府老連会長より表彰されました。

その後、秋の主要行事であるウォークラリー大会の詳細を田所五一郎氏より、レクリエーション大会の取り組みを細井莞壽氏より紹介し、皆さん関心をさらに深めていただいたと思います。そして、久楽和克氏のハーモニカ演奏でひと息入れ、最後に前田市老連会長から激励のあいさつがありました。

皆さん、まだまだ感染症はゼロではありませんが、社会活動も少しずつ元に戻っています。会員の方にひと声かけて励まし合い、元気に体を動かしながらウィズコロナの時代を乗り切ってまいりましょう。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

グループ・単位クラブ活動だより

東部・第一グループ

久しぶりの奉仕活動

新千里千修会 会長　**村田　雅彦**

猛暑の日々が過ぎ、少し涼しくなりました。新千里千修会では、久しぶりの奉仕活動としてぞうきん縫いを行いました。各施設や消防署などにお配りするため、中古タオルを再生し、ぞうきんや〝おしりふき〟を総勢15人で作りました。男性が4人ほど参加されていましたが、慣れない手つきで針に糸を通すのが難しく、また指に針が刺さることもあったりと悪戦苦闘していました。

作業は中古タオルや布を裁断する人、縫い目に印を入れる人、針を通す人、最後に各施設に配布する人と、それぞれ分業して行い、皆さん和気あいあいと楽しみながら作業に励んでいました。

各施設からはとても喜んでいただき、私たちにとっても少しでも地域のお役に立っていると思うと幸せに感じます。

北部・熊野田グループ

泉寿会創立30周年記念式典

泉寿会 会長　**福岡　美加**

昨年10月10日(月・祝)、泉丘小学校コミュニティルームにおいて泉寿会の30周年記念式典を開催しました。当日は長内豊中市長や前田市老連会長など多数の来賓が参列され、盛大な会に彩りを添えていただきました。

第1部記念式典では、主催者挨拶、来賓祝辞に続いて、備中昭子前会長をはじめ12人の方に表彰状ならびに感謝状を贈呈させていただきました。その後、全員でサザエさん体操を行いました。

休憩をはさんでの第2部アトラクションでは、高校生シンガーの森本安音さんをゲストに迎え、懐メロを中心とした歌謡ショーを楽しんだ後、〝泉寿会30年の歩み〟を映像で紹介し、改めて歴史の重みを感じることができました。

泉寿会には現在83人の会員がおり、『仲間と日々を生きる愉しみ』をスローガンに、日々活動を行っています。これからも和気あいあいと笑顔あふれる活動を展開していければと思っています。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

グループ・単位クラブ活動だより

北部・蛍池グループ

「ぞうきん作り」で社会貢献

蛍池延寿会 会長　**大森　裕和**

蛍池延寿会では、ボランティアの一端として毎月第３火曜日を「ぞうきん作りの日」と決め、蛍池老人憩の家の集会室を作業場に、毎月50枚くらいのぞうきんを作っており、それを蛍池校区の小学校や保育園などに１００枚単位で寄贈し、たいへん喜ばれています。

ぞうきん作りはコロナ禍の中、感染防止対策を十分考慮に入れ、生地の点検に始まり、裁断、線引き、縫製、点検を経て１枚のぞうきんができ上がります。

ぞうきん作りには、主に7～8人の会員が参加し、それぞれ役割分担を決め作業に励んでおり、これからも地域社会の貢献を目標に、ずっと続けてまいる所存です。

中部・中桜塚グループ

みんなが楽しめるクラブを

南桜塚ことぶき会 会長　**西谷　洋子**

南桜塚ことぶき会では、みんなが楽しめるクラブづくりを目指しており、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら例会やお誕生会などを開催しています。会員の中にはタクシーに乗ってくださる方もおられます。皆さんひと言ずつ近況報告をしていただくなど、和やかな会になるよう心がけています。

時にはゲームやカラオケなどを楽しむこともあり、ゲームで一番になった人にはささやかなプレゼントを用意したり、会が盛り上がるように工夫しています。その他、地域の行事にも積極的に参加しています。

年々、会員が減少していくのはとても残念ですが、これからも頑張ってまいります。

南部・豊南グループ

令和４年 豊南文化祭を開催

豊南第２ことぶき会 会長　**中村　惠子**

昨年10月8日㈯～9日㈰、豊南老人憩の家で豊南文化祭を開催しました。展示作品は約80点で、恒例のお茶席がなかったのは残念ですが、両日合わせて約90人の来場者でにぎわいました。

今回ペーパークラフトで弥勒菩薩や法隆寺関係の作品を出展された宮腰さんをご紹介します。3年前に退職して「何かモノ作りを…」と木製模型を始めたのが始まりで、費用が安く済むペーパークラフトに移行したのは約1年前だそうです。

製作期間はおよそ70時間だそうで、「細かい作業なので失敗が多く全体的にあまり出来は良くありませんが、顔の部分はうまくできたので満足しています」と宮腰さんは笑顔で話してくれました。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

豊寿のひろば

会員の皆さまから寄せられた随想を紹介します

花はどこへ行った

クリーン親和老人会　清水　祐一

買い物の帰り道、時に花屋の店頭で季節の移り変わりを感じて小さな季節の花を買い求めたりしている。日本という国は四季に恵まれているために、花々も季節の変化を楽しんで美しさを見せつけているのかな。本来日本を原産地としない花でも、花図鑑で漢字表記を見ると、可憐であったり、優雅に富んだ名前に出逢い、花言葉をも楽しんで何となく花に語りかけたくなったりする。寒さに向かうこれからの季節にも楽しみが多い。凛とした花が好きで、これからの時期〝ロウバイ〟、桃、梅、足元にはそっと小さなタンポポが遠慮がちに咲いていたりする。やさしい国は素晴らしいではありませんか。

１９７０年代に公開、最近リメイクされたソフィア・ローレン主演映画「ひまわり」で涙涸れた記憶の方も多いと思いますが、地平線の彼方までも続くウクライナの一望のひまわり畑、ラブロマンスの舞台はどうなったのだろうか。戦争は人間を獣と化してしまうものでしょうか。

平和な日本のありがたみをつくづく思わせる今日この頃です。痛ましいニュースを見聞するたびに、無力な自分の弱さを知らされて心痛める日々です。

何でも好奇心

蛍池延寿会　春名　秀子

同居の孫娘が幼稚園の頃「おばあちゃん、オセロしよう」とやってきた。その後、私の方から「将棋しない」と誘った。オセロはともかく私は本式の将棋は知らない。子供の頃にした挟み将棋と２、３の簡単なものだ。孫は「おばあちゃんに勝った」とうれしそうに両親に話したとか。２年生から孫は友達と２人で月に２度集会所で将棋を教えてくれると知り、通った。４年生になりクラブ活動が始まって将棋クラブに入部したと知った。学年で１人、女子で１人の入部で、先生が「大丈夫かあ」と心配されたとか。４年生の終わり頃に豊中市の将棋大会が開かれ出場できた。小中学生50人ほどだったとか。時間内に勝負がつかない対戦もあったとのこと。対戦態度が良かったようで「特別賞」を頂いてきた。孫ながらうれしかった。

私が孫に「将棋教えてー」と言うと、数日して駒の性質を自分で書いて「おばあちゃん、これ覚えや」と渡された。教わったが難しかった。今では尻切れとんぼに終わっている。そしてコロナ禍にもなり、忘れている。孫からもらった用紙を眺めるが根気がない。決まり事が多くて、今さらと思うが老化防止になるなら頑張って孫に教えてもらいたいと思う。

夜霧よ今夜もありがとう

新千里北町和楽会　大島　久和

東部ブロックの会員による「カラオケ発表会」は、一昨年の開催で25周年を迎えることになっていましたが、コロナ禍のため２年の空白がありました。ようやく昨年11月29日に「蛍池老人憩の家」という素敵な会場で開催することができました。

タイトルにある曲「夜霧よ今夜もありがとう」は、私の青春時代の愛唱歌として、また奇しくも歌手・石原裕次郎の芸能生活25周年を祝う記念番組（１９７９年）でラストに歌われた曲として鮮明に記憶に残っており、今では私の十八番として、カラオケ発表会でも唄わせていただきました。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

豊寿のひろば

多田銀銅山遺跡を訪ねて

新千里千修会
村田　雅彦

天高く馬肥ゆる秋、秋晴れのもと久々に歴史探訪に出掛けた。

川西能勢口駅からバスに乗り、銀山口停留所に降り立つ。昔の人を偲びながらゆっくりと散策をスタート。柿や栗が実る里山を抜けると山あいに入り、川に沿って歩く。だんだんと深い谷になっていき、静かな木々の間から野鳥のさえずりが響く。足元ではサワガニがハサミを振り上げ迎えてくれた。

多田銀銅山の歴史は古く、奈良時代の東大寺の大仏鋳造の際に銅を寄進し、平安時代には朝廷に献上されたことから採銅所が置かれ、さらに豊臣政権の際には直轄鉱山として栄え、「瓢箪間歩（まぶ）・台所間歩（まぶ）」を中心に大坂城の財政を支えた。江戸時代に入ると、最盛期には銀山代官所が置かれ、銀銅採掘の一大拠点となり、「銀山三千軒」といわれるほどのにぎわいを見せた。

その中で、興味を持ったのは秀吉に仕えた絵師の狩野山楽に紺青石（青色の顔料）の採掘権が与えられたこと。当時は青色は貴重な鉱石である。

多田銀銅山には悲哀に満ちた歴史もあった。多田銀銅山の間歩は湧き水が多く、たびたび水没した。また、採掘による粉塵に多くの人が病に苦しんだ。近くには古くからの山の守り神として金山彦神社があり、鉱山の栄枯盛衰を見守ってきた。

歴史のロマンに浸りながら、多田銀銅山の悠久の館で弁当を広げる。病み上がりの身ではあったが、大好きな歴史探訪に行けることの幸せを感謝しつつ、帰路についた。

手前味噌

本町寿会
坂本　光正

私は毎年、豊中市高齢者文化祭に何か小物を１点出品させていただいています。昨秋はコロナ禍がひと段落したこともあり、高齢者文化祭に間に合わせるべく早くから材木を購入して、手作りの椅子を出品させていただきました。

家内は「世界にひとつだけの椅子」と絶賛してくれました。私自身、昨年11月で米寿に到達できましたので、良い記念品ができたと一人悦に浸っております。木材を切ったり削ったり、彫刻したりは老化防止にもなり、趣味のひとつにしております。

次回の出品は何にしようか…今から考え始めている次第です。

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員文芸

俳句

【蛍池延寿会 俳句部会】

穏やかに初日言祝ぐ兄米寿　岡本　邦夫
そう言はばいささか日脚伸びてきし　川瀬　寿子
離り住む子等へ届けよなずな打つ　辻　月女

【末広町ひまわり会】

咲く花は使命生きて愚痴言わず　佐々木勝次郎
蓮咲いた沼池育ちで仏花　久楽　和克

【北条寿クラブ】

山の端に出た名月も湯の香り　松永　茂
赤白黄踊りの続く彼岸花　中島　百樹
年一度生きてる証しこの年賀　三国豊寿会　籾井　英作
小春日や干したシーツは虫の子ら　利倉西きらめき会　田中　照夫
コロナ禍に負けじと咲く百日紅　東桜会　箕嶋　正子
大寒やゆず茶啜りて籠りたる　曽根西２クラブ　松尾　時子
桔梗花蟻の火吹きと別名あると　島田栄寿会　堀江寿賀子
天竺の土堤をかけゆく秋の風　浜ときわ会　新居冨美子

短歌

大和路は車窓に連なる彼岸花　みゆきクラブ　有馬　菊野

【末広町ひまわり会】

夏終り秋冬すぎて歳を取り
無常の世にて常住求めて　佐々木勝次郎
新年を祝う花買い空き瓶に
目が合う度に癒され和む　久楽　和克
寒くなく暑くもなくて過ごしゆく
春も短く秋も短し　北条寿クラブ　中島　百樹
憂きことはしばし止めて去りし日の
よろこび大きくこの朝迎えん　クリーン親和老人会　清水　祐一
天空の生石高原一面の
芒と小雨向え来るらん　曽根西２クラブ　松尾　時子
朝ぼらけ胸のおののく夢をみし
逝きて四十年君は若かり　浜ときわ会　清水　一恵

川柳

口数少く趣味多く
ちょっと父に似ているあこがれの人　島田栄寿会　小山　綾子

【東豊中まどか会】

早朝にバスを乗り継ぎ有馬の湯　尾澤冨美子
ウインドウ写る姿は年老いて　海野　民枝
甘くみたコロナ大変身にしみた　松田　広行
足湯するソフトクリーム手に持って　安本　重子
オミクロンかわいい名前嫌な菌　松田　友子
コロナでも夜空に拡がる大輪の花　槙野カツ子
善処も検討しますもやる気なし　中村　太一

【北条寿クラブ】

枝打ちの腕とは何ぞ庭そうじ　松永　茂
マスク越し伝わる笑みの会話かな　小野　利子
顔パック振り向きざまにヒマゴ泣く　上田　安恵
円高苦円安苦へと悩まされ　渕元　賢一
自転車を杖替りとし身の安全　中島　百樹

【末広町ひまわり会】

世流れに沈思黙考生きる意味　佐々木勝次郎
難病の戦争ワクチン世に要るよ　久楽　和克

【曽根西２クラブ】

平和えの祈り届けと異国の地　松尾　時子
マスクして帽子かぶって老いかくす　根無　建三
初売りに青が出回る胡蝶蘭　蛍池延寿会　春名　秀子
（注）7月27日の朝刊に青色が出たと書いてありました。
老人は尋ねし人なつかしく　島田栄寿会　堀江寿賀子
長生きはボケた振りしてのんびりと　浜ときわ会　福元　君代
掃除日や元気なにより話咲く　みゆきクラブ　平川　郁子

標語

感謝と有難うは一生の友　北条寿クラブ　中島　百樹
健康と笑顔は女性の宝　蛍池延寿会　春名　秀子

今号もたくさんのご投稿をいただき、誠にありがとうございました。文芸作品につきましてはページの都合により、おひとり様１部門につき１作品の掲載とさせていただきました。何とぞご了承いただきますようお願い申し上げます。　（文化広報部会）

替え唄

生きた昭和、平成、令和
三国豊寿会　籾井　英作

1. 昭和生れのエイジレス
戦中戦後は苦労して
明日（アス）の食を求めつつ
やりくりしながら生きてきた

2. 昭和生れのエイジレス
日々の暮しもよくなって
小さな幸せだきしめて
明日の夢見て生きてきた

3. 昭和生れのエイジレス
この先良いことあるかしら
僅かな年金細々と
今じゃどうにか生きている

4. 昭和生れのエイジレス
１００まで生きたい夢もある
迷わず行きたい黄泉（ヨミ）の国
いつかは誰もが行く世界

㊟美空ひばりの「悲しい酒」で歌ってみてください。87歳まで生きたわが人生を振り返った雑感を記したものです。

ＳＣ豊中 作品館

写真『合わせ鏡の奈良の紅葉』
古田　知孝（桜寿会）

写真『氷海をとぶ大鷲』
石川　文夫（庄内第二新生クラブ）

写真『落ちた花びらを〝遊び心〟で』
春名　秀子（蛍池延寿会）

写真『大阪城』
福元　君代（浜ときわ会）

ぬり絵『水仙』
清水　一恵（浜ときわ会）

ぬり絵『つばき』
森重智恵子（浜ときわ会）

ぬり絵『スケート』
脇本　正子（浜ときわ会）

似顔絵『大谷翔平』
福元　君代（浜ときわ会）

ぬり絵『初日の出』
千野　和子（浜ときわ会）

ぬり絵『アヤメ』
牧野　昌代（浜ときわ会）

ぬり絵『つばき』
南野　渥子（浜ときわ会）

人の心をつなぐ旅

趣味部会長　坂野　文明

人の心をつなぐ旅を目指し、趣味部会では6月に舞鶴引揚記念館の日帰り旅行を企画・運営し、大成功の旅となりました。

「近くて温泉につかってゆっくりしたい」というアンケートの要望に応え、今回は宍粟市を企画しました。コロナ禍なので当初は定員190～200名としていましたが、ふたを開けてみると321名の参加希望があり、日程も昨年11月21日(月)・22日(火)という当初の予定に加えて25日(金)も追加することにしました。これは趣味部会の旅行が素晴らしいという、皆さまからの信頼を勝ち取った証だと思います。

宍粟市の最上山公園は紅葉が綺麗だった上に、太陽の光と青い空とで見事な紅葉狩りができました。

塩田温泉の昼食はコロナ対策もばっちりで、とても美味でした。温泉は奈良時代から湯治場として有名で素朴な感じのお湯…山を眺めながらゆっくりできました。中庭の滝と紅葉のコントラストも最高で、くつろげました。

ヤマサ蒲鉾では3000円のクーポン券を使い果たそうと多くの人がレジに並んだため行程が遅れましたが、とてもおいしい蒲鉾でした。一方、姫路城の好古園は人気スポットで見所がたくさんあったのですが、時間がなくゆっくりできませんでした。

皆さんのアンケートを見ると「バスガイドさんの説明と案内が最高でした」「割引クーポン、温泉が良かった。安くて紅葉がとても綺麗だった」「お料理がおいしかった」「命の洗濯ができました」といった評価をいただきました。

これからも満足していただける旅行を企画すべく、趣味部会の充実に努めます。

次号の原稿を募集します

ＳＣ豊中(豊中市老人クラブ連合会)では、豊寿第121号の原稿を募集しています。

投稿規定は、市販の原稿用紙で500字以内。文芸作品については、短歌は１首、俳句・川柳は２句までとします。なお、俳句・川柳については紙面の都合で１句のみの掲載となる場合があります。どの句を優先させるかを必ず明記してください。記入のないものについては文化広報部会で選句させていただきます。その他の作品(写真・絵手紙・書道など)も募集していますので、ふるってご応募ください。

◎豊寿第121号は８月１日発行予定です。
原稿締切日は６月２日(金)となります。

投稿の際はお名前、クラブ名、電話番号および「豊寿原稿」と必ずご記入ください。

文芸作品を投稿される方は、「俳句」「川柳」「短歌」「標語」を必ず明記してください。なお、編集の都合上、原稿の一部を訂正・変更させていただくことがあります。ご了承下さい。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく良き新年をお迎えのことと存じます。

昨年もコロナ禍でしたが、文化広報部では「ＳＣ豊中だより豊寿」の編集に取り組み、その成果として第120号をお届けいたします。

豊寿発行の歴史は昭和41年5月に「ＳＣ豊中だより豊寿」の前身である「福祉豊寿」の創刊号が発刊されています。以来56年にわたり年1～2回発行され今日に至っております。これもひとえに皆さま方のご理解と投稿にご協力をいただきました賜物と深く感謝しております。

コロナによる行動制限が徐々に緩和されてまいりましたが、まだまだ油断することなく感染防止に努めていただきますようお願いします。

（文化広報部会　横畠　正秀）

ご協賛各位へ御礼

このたびは、「ＳＣ豊中だより豊寿」に広告のご掲載を賜り、誠にありがとうございました。

本紙は、超高齢社会において会員の生きがい、健康、教養を高めるとともに、会員相互の親睦交流を願って発刊するものです。以上の趣旨をご理解いただき、何とぞ末永きご厚誼、ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

ＳＣ豊中（豊中市老人クラブ連合会）

私たちは、豊中市老人クラブ連合会の活動を応援しています